

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

町田市議会

所属:志政クラブ

〒194-8520
東京都町田市
中町1-20-23
TEL.042-724-2171
FAX.042-724-1196



双方向の情報交流

東日本大震災の被害地に行く

2011年3月に発生した東日本大震災と福島第1原発爆発事故は、国内の災害記憶としては最大のものでした。私は、市議会開催の合間をぬい、市行政に先駆けて被災地に到着しました。菅総理が天候不良で原発視察を取りやめた日で、当地は冷たい雨が降っていました。現実には、風で飛び散った放射性物質が雨によって広範囲に降り注いだ日でした。もとより、懸念はしていましたが、淡々と茨城県内の太平洋岸を巡りました。3/21～3/22



JR常磐線は不通で、バスを使用しました。

福島第1原発の近隣地域を歩く

ここから先は立入禁止と表示がされた、福島第1原発の20km同心円圏を、車を使って巡りました。ほとんどの地域が静寂のエリアでしたが、原発施設に至る検問所は物々しい体制で、多数の機動隊員と警察車両が道をふさいでいました。数キロ離れた地点には、東芝・大成建設・自衛隊などのベースキャンプがありました。テレビに出てく

る原発機材とその輸送車両、劣悪な放射線環境で働く作業員宿舎を見つけました。また、川内村では、防護服姿の自衛隊員や消防隊員の姿を見かけました。5/7～5/8



この写真の位置の先まで進むと、警官から厳しいストップの指示を受けました。

市内の空中放射線を測定公表

関東各地でも大気中の放射線量の増大が見られました。町田市にもその測定を求めるとの要望が高まりましたが、行政はその願いをまったく無視していました。私は、友人が測定してくれた町田市内の空中放射線量を、4月下旬から定期的に公開し、小さな子どもをもつ世代の住民から問い合わせを受けてきました。

その後、行政に上記の測定を求める一方で、自分では市内に自生する植物と、購入した町田市の学校給食用牛乳を、放射性物質の含有量の測定目的で、検査機関に調査を依頼して、結果をネット上に公開してきました。町田市内のもものでは、初めての測定とその結果の公表でした。町田市は7月に入り、ようやく一部の学校校庭の調査を決めました。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発見動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

発行 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE 103-13 吉田つとむ事務所

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

吉田つとむ自宅

〒194-0011
東京都町田市
成瀬が丘1-14-12
サンホワイトE103-13
☎042-795-7361



学校給食(牛乳)の食材測定

町田市内の公立学校（町田市立小学校）で使用する給食用牛乳を、放射性物質の含有検査目的で取り寄せることにし、市内の学校給食納入業者より6月6日納品の給食用牛乳を入手し、その日の内に検査機関に出しました。ちなみに、町田市の公立学校の給食用牛乳は、すべて明治乳業の茅ヶ崎工場で製造されたものです。



小学校の給食メニューを頂く、まずは牛乳。

私が当該牛乳を提出した（1.2リットル分＝リサイクル瓶200ml×6個）検査機関は、「たんぼぼ舎」と言い、その分析結果では、うれしいことにヨウ素、セシウムとも一切検出されず、「とてもきれいな牛乳でした」とのコメントをいただきました。その結果については、私のHP、ブログに公表すると、多くの方から反響がありました。その検査結果情報は、町田市教育委員会とメーカーの明治乳業にも伝えました。

その後に至るも、町田市は市長の方針なのか、牛乳を含む学校給食用食材の放射性物質の含有量測定調査をする意思が見られませんでした。6月21日開催した、町田市

議会の健康福祉常任委員会は、市内の空中放射線の測定を求める請願を審査、全員で採択しました。その際、学校などの土壌・プールの水の測定と同時に、学校給食用の食材（牛乳を含む）の放射性物質の含有量測定調査を求める付帯決議を全員が一致して可決しました。

委員会で意見陳述をされた請願者に対して、私自身が質問して確認したのですが、その意思是「可能ならば、土壌・プールの水、それに学校給食用の食材も測定してもらいたい」とするものでした。

研修生の募集について

政治や社会一般の勉強目的で研修を希望する学生を募集しています。次期は、春休みを中心にした期間ですが、日程や希望項目の調整をしたうえでの受け入れになります。インターンシップの詳細は、下記のメール先にお尋ね下さい。

その一人として、これからの夏休み期間、小宮春菜さん〈国際基督教大学（ICU）教養学部 第三学年〉が、第28期研修生として活動します。



掲載記事、あるいはご関心事は、下記のFAX かもしくはメールまでご送信先ください。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

Mail : yoshidaben@gmail.com

市議会報告・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

町田市議会

所属：志政クラブ

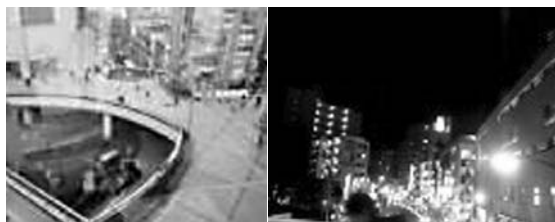
〒194-8520
東京都町田市
中町1-20-23
TEL.042-724-2171
FAX.042-724-1196



リニア新幹線と市の長期計画

政策シンクタンクP H P 総合研究所の研究員 宮下量久氏の講演「町田のポテンシャルを生かしたまちづくり」をお聞きしました。内容は、町田のユニークな潜在力で都市間競争を勝ち抜くというテーマでした。私が、講演の話題で関心を持ったことは、講師が「リニア中央新幹線」が開通することが町田市にとって大きなインパクトを持っていることに着目している点でした。これからの時期は、東海道線が中心の世界からこのリニア中央新幹線の駅を拠点とする新たな都市文明が形作られていくというものでした。つまり、その駅の一つである相模原市内の場所を基点に町田市もその浮揚が図れるとする視点は、私が以前から提唱してきた考えに一致するものでした。

現在までの町田市の長期構想では、このリニア中央新幹線の開通がまったく盛り込まれていません。町田市が描く将来の人口動向は、J R 東海が政治から独立して建設しようとする発想に対しても、神奈川県と相模原市がその都市発展の中核に据えようとする姿勢に対してもまったく目を向けないで発想したものに過ぎず、発展性に基づく将来の道筋とは言えないものです。この日は、大変示唆に富んだ話を聞かせていただきました。



ジェネリック拡大の市民病院

第3定例会議の健康福祉常任委員会では、町田市民病院の報告がありました。町田市民病院では、引き続き、ジェネリック医薬品の移行利用の拡大を図っているとのことでした。その利用状況は、診療材料の統一と合わせ、2010年度に6000万円削減ができたとしています。利用品目数は、2009年度に29品目増加し、さらに2010年度には10品目を追加し、院内全体で135品目のジェネリック医薬品を採用しているとのことでした。

これまでは主に注射薬を拡大し、最近では薬剤の利用拡大を図っているとのことでした。今後の見通しを聞くと、今後の利用拡大のペースが落ちてくるとのことでした。

私は、従来からジェネリック医薬品の拡充で患者負担を軽減することを主張していますので、その日も、「今後もさらに、普及を図ってもらいたい」と発言しました。また、自分自身の活動では、他市の先進例を研究し、医療費負担を増やさないために、新たなジェネリック医薬品目を探し出して紹介していきたいと思っています。



ジェネリック医薬品が普及した病院を訪問

*主な第3定例会議日程予定：8月30日（提案）、31日（議案説明会）9月2日、5日、6日、7日の4日間は一般質問、8日（本会議質疑）、以降は連日決算委員会、10月4日（表決）

納税者主権の政治・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



インターン生を同行

保健所が町田市の管轄になる

町田保健所が東京都から移管され、4月1日より町田市保健所となりました。まだ、所長（医師）を始め、東京都職員の応援を受けますが、数年後には人事を含めて完全に町田市の機関になります。

事業としては、食中毒などの飲食店の指導・取締りと言う感じがしていましたが、一般住民を対象とした保健衛生指導にも重点を置くスタンスになります。

福島第1原発事故の放射性物質の汚染問題に関して、旧来の町田市の部署では対応が不十分であり、議員の多くは、その測定、除去、個人の対応の全分野において、町田市保健所に頑張ってもらいたいと思っています。

今期の本会議や所管の健康福祉常任委員会の審議において、議員の質問に何度も答弁を必要とされたのが、町田市保健所長（いきいき健康部地域保健担当部長＝東京都から出向の形）でした。発言の歯切れが良く、答弁は明快でした。私自身、副議長職で本会議での質問ができませんが、質問⇔答弁の機会を得てみたいとの思いを感じました。



富士電機製 DOSEi- γ を購入。国産の放射線測定器、高機能個人被ばく線量計です。

第26回セミナー(講演会)のお知らせ

私が市内に自生する植物の桑や公立学校の給食用に出されている牛乳の放射性物質の調査をお願いした「たんぼぼ舎」は、原発問題や放射能に関しても、大変詳しい知識をお持ちです。

そこで、以下の日程等で「たんぼぼ舎」の山崎久隆氏（先日皆様からの質問に関する回答を私のブログで紹介させていただいた方です）を町田にお招きして、「福島第1原発事故と町田市での暮らし——子どもと自分を守るために今必要なこと」と題する講演会を開催する予定といたしました。

講演内容は以下のとおりではありますが、時間中には皆様から山崎氏に自由に質問ができる時間も設けますので、日頃の生活に関してご心配が有る方は、是非この機会を有効にお使いいただければと考えます。

なお本講演会は無料ですが、会場の関係上申し込み先着50名の方に限り、ご出席可能となりますので、ご関心のある方は、お早めに下記ファックスまでお申し込みください。

<開催次第>

開催日時：8月8日(月) PM7:00～9:00

開催場所：町田市民フォーラム第一学習室
(町田市原町田4-9-8 町田で一番背が高いビル4F。小田急町田駅徒歩8分)

講師：たんぼぼ舎 山崎久隆 先生

入場料：無料

主催：市議会 志政クラブ 吉田つとむ事務所

受付FAX：042-795-2726

受付mail：yoshidaben@gmail.com

演目：「福島第1原発事故と町田市での暮らし----- 子どもと自分を守るために今必要なこと」

講演内容：何が起こったのか？ どうなっているか？ 今後どうなる？ 注意すること、留意すること、放射性物質の計測について、焼却による2次汚染、参加者と講師のフリートーキング。